



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN
**OSAKA
NAMBA**
大阪難波ロータリークラブ週報

3月 会員誕生日 おめでとうございます

- | | |
|---------------|--------------|
| 3月 5日 遠藤友一郎会員 | 3月 6日 山田誠一会員 |
| 3月12日 上杉竜太郎会員 | 3月13日 宮本倫明会員 |
| 3月15日 森 圭司会員 | 3月29日 西原芳博会員 |
| 3月29日 赤坂 宏会員 | |



Vol. 44

「テーマ私の入会」

世代を紡ぐ
インタビュー

大阪難波RCの入会は突然でした。十九年前のある木曜日の十一時頃、大学の先輩である故仲川裕之会員より、「昼食を一緒にしよう」とお誘いがありました。お供してスエスホテルの7階に着くとロータリークラブの例会でした。当時、ロータリークラブの事を全く知らない私に入会しなさいと申込書を渡され、入会手続きを致しました。数か月後、無事に承認され、二〇〇二年八月に大阪難波RCの会員となりました。四十二歳で入会した私は当時最年少でした。入会後まもなく、当時の幹事や友好委員長を担当しておられた先輩3名に、秋のハイキングの下見に誘われました。朝の時に難波駅に集合し、車で向かうものと思いついていましたが、本番同様に列車にて行動すると聞き本格的な調査にびっくりしました。天理駅より山野辺の道へ入り桜井駅迄移動しましたが、そもそも、下見の内容を聞かされてはいない私は、山道のハイキングコースを革靴でむかう事となり四苦八苦しました。内容として

白野陽一 会員



は、時間計測、ハイクン、グーパー、アイキン、スの景観と難お弁当を食べるための良い場所の所選定、トイレの場所等を念入りに確認して、結局十六キロ程度歩きました。その中の約十二キロをハイキングの始発点と到着点と決定しました。私は四十代ですが、六十代七十代の先輩が、二玉まで綿密な下見をされる事と、そもそも、普段は段取りをしてもらうお立場の先輩方が、自ら徹底的に準備される姿を拝見して大変驚き感動しました。「一人として、ロータリアンとしてどうあるべきか」を学べる良い機会となりました。ちなみに下見終了後のお疲れ会でのお酒は、何事にも代えがたい美味しさでした。友好委員の思い出は他にもあります。委員長の時、当時は三姉妹とクリスマス家族会を同時にやっていましたので、ゴルフと観光の準備時に行つていたので、ゴルフと観光の経験が役立ちました。ところが、その年はゴルフが急遽キャンセルとなり調整が難しかったのと、個人的なお土産として大阪難波RCの名入りゴルフボールを6ダース用意したので、お蔵入りとなつたので、私自身が使う事となりました。もしかしたら、関西近郊のゴルフ場のOBホールとして隠れているかもしれませんが、色々とあつた三姉妹ですが、クリスマス家族会、サリナ、ジョーンズのジョーで、金山西北RCや台中西南RC、大阪難波RCの皆さんと一緒に家族に聴き入られて、喜んで頂いたのが嬉しく思っています。コロナ禍の現在も各委員長や友好委員会の皆様方は会員や会員家族の喜ぶ顔を思い浮かべ、色々な計画を立てられている事でしょう。ご苦労に感謝します。今後とも時間の許す限り全ての行事に参加し、皆様方と共にロータリー活動を楽しみたいと思ひます。

例会にご出席いただく会員様には、遵守いただきたい事項がございます。

- ①食事前にハンドソープで手を洗う。
- ②食事中は黙食(会話をしない)を厳守する。
- ③食事後は必ず、速やかにマスクをつける。

以上3点、【自分がうつらないために】【他の人にうつさないために】くれぐれも失念なく遵守の旨、特段の配慮を願います。



これからの予定

- 3月11日 (木) 例会
- 3月13日 (土) 会長エレクト研修セミナー(PETS)及び地区研修・協議会
- 3月18日 (木) 例会
- 3月25日 (木) 例会
- 4月 1日 (木) 例会・定例理事会

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
3月4日 (木) テーマ 「コロナ今日この頃」 卓話者 白野陽一会員	3月11日 (木) テーマ 「自己紹介と変化」 卓話者 千田忠司会員	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第23回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘)	通算第2113回例会
・国 歌	「君が代」
・ロータリーソング	「奉仕の理想」
・ソングリーダー	本間一成会員
・来客紹介	友好委員

会 食

・歌とピアノ	木下裕子
・会長報告	川口栄計会長
・幹事報告	福田 忠幹事
・委員会報告	各委員長
・出席報告	出席委員
・ニコニコ箱報告	SAA
・卓話	

閉 会 (点鐘)

♪ 奉 仕 の 理 想
奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

ニコニコ箱報告		
前回の合計	¥80,000	
本日までの累計	¥1,704,500 (64%達成)	
2月末の予算額	¥2,660,000	
出席報告		
前回 2月25日	3週前 1月28日(休会)	
会 員 総 数	58名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率
出 席 会 員 数	27名 (ZOOM出席者含む)	
出 席 率	52%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長:川口栄計 幹事:福田 忠 会報・雑誌委員長:三島敏宏 事務局:安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

3月は「水と衛星月間」です

前回の記録 第22回 2月25日(木)

★来客紹介：ありません

★会長報告：川口会長

1. 会員の皆様、こんにちは。またZOOMにて参加されている会員の皆様、こんにちは。本日の会長報告を行います。

新型コロナウイルスの感染者数が、減少傾向に転じ、ようやく大阪府、兵庫県、京都府に於きましても、今月一杯をもって緊急事態宣言が解除されそうな見込みであり、大変、安堵しております。私ども大阪難波ロータリークラブは先週より、収容率他、徹底した対策の下、例会を再開いたしました。おそらく3月からは例会を再開される他クラブも多いのではと嬉しく思います。まず、冒頭で申し上げますが、来週、3月4日の例会は、今週同様、リアル例会とZOOM例会のハイブリットを予定しております。どうぞ、可能なスタイルでご参加ください。

2. 本日の「ロータリアンの足跡」は、フィリップ（エディンバラ公）エディンバラRCです。言わずと知れたエリザベス女王の旦那様（王配）であります。以前、モナコ公国のレーニエ3世の時にも、その華麗なる系譜をご紹介しましたが、エディンバラ侯爵におきましても、祖父にギリシャ王ゲオルギオス1世、曾祖父にデンマーク王クリスチャン9世、高祖父にロシア皇帝ニコライ1世、高祖母にイギリス女王ヴィクトリアと連なります。ヨーロッパ中の過去の統治者は皆々ご親戚のようです。ロータリアンとしては、来日時、アポなしで急遽、京都ロータリークラブにメイクアップで来られ、会員の皆様に驚かせたエピソードが京都RCのホームページに掲載されていました。

また彼の奔放な生きざまは、多くの人に愛されましたが、人種や性別に絡む失言をたびたび行い、問題となるが多かったそうです。代表的なエピソードを2ページに書いておりますが、中でも5番、ケニア訪問時、現地人女性に「あなたは女性ですね?」、6番、中国、西安訪問時、英国留学生に向かって「ここに長くいたら、中国人のように目が細くなりますよ」とか、ひどいのは7番、「生まれ変わったら、死のウィルスになって人口問題を解決させたい」は、現在のコロナ禍で言ったら大変なことになる失言でしょう。8番、パプアニューギニアを探検した学生に「なんとか食べられずに済んだのですね」、9番、将来、宇宙飛行士になりたいと言った12歳の少年に「君は太っているから無理

だろう」と思わず笑ってしまうような失言もありました。しかしながら王室の公務には献身的に取り組み、王室の改革、近代化にも積極的でありました。また自然保護活動を熱心に勤め、世界自然保護基金の初代総長でもありました。ご興味のある方は詳しくお読みください。これにて本日の会長報告を終わります。

★幹事報告：福田幹事

1. 来週3月4日例会終了後、臨時総会を行いますので少しお残り下さい。その後、定例理事会を行いますので、理事役員の方はご出席下さい。
2. 本日、皆様に下期会費の領収書を再発行し入れさせていただきました。例会休会還付金として82,500円相殺しました、との但し書きを追加させて頂いております。先にお渡しした領収書は破棄をしていただきますようお願い致します。
3. 例会場変更のお知らせです。来週の例会は7F芙蓉の間です。よろしくお願いいたします。

★委員会報告

◇国際交流三姉妹：松田委員長

6月に予定しておりました台北での三姉妹合同例会ですが、台中西南ロータリークラブから中止の連絡がございました。今回は三姉妹世界共同社会奉仕事業として台中市太平区頭汴国民小学校に大型タッチパネルテレビを2台寄贈致しました。それに伴い、当クラブからは\$1,000を台中西南ロータリークラブに送金させていただきます。

★ニコニコ箱報告

川口栄計：例会再開を祝して。卓話よろしくお願いいたします。

福田 忠：大阪・愛知などの緊急事態宣言の2月末での解除を政府が検討しているとの事です。早く例会が出来る様になる事を願います。

比嘉廉丈：ご無沙汰しております。

大地庸元：久しぶりに皆さまにお会いできてうれしいです。

山田誠一：入会記念日、自祝。

白野陽一：いよいよ通常に戻りそうです。皆さん元気出して頑張りましょう。

清水一人：世代を紡ぐインタビュー、三島さんありがとうございます。

上杉竜太郎：前回例会欠席お詫び。

右田竹郎：久しぶりの出席です。皆様、今後もよ

ろしくお願いいたします。

三島敏宏：誕生日、自祝させていただきます。

川井宗次：例会の再開、皆様との再会嬉しく思います。孫が今月3歳になりました。これからの成長が楽しみです。

★卓話 テーマ 「上半期を振り返って」
卓話者 川口栄計会長

今期は、コロナの影響をうけ難しい運営を余儀なくされています。昨年7月当初は順調に活動できましたが、8月第一週と、12月二週目より約三か月間休会することとなりました。しかしながら、社会奉仕活動は順次開催出来ました。7月には大分県豪雨災害の支援物資として避難所へ間仕切り用パーテーションとベットを各50セット寄贈しました。また、日赤病院への医療用マスクN-95の寄贈や、道頓堀リバーフェスティバルにてポリオ撲滅の募金活動と、肢体不自由者施設の授産品バザー販売のお手伝いをさせていただきました。友好行事としては、直前会長・幹事慰労会と秋の松茸狩りは開催でき楽しむことができましたが、夏の家族会in琵琶湖と会員とご家族が楽しみにされていたクリスマス家族会は中止せざるをえませんでした。また、国際活動の三姉妹合同例会も中止となり、同じく2021年国際ロータリー年次大会もリアル開催ではなく、昨年度のハワイ大会同様WEBにての開催となりました。この様な環境下でも、会員とご家族が楽しんでいただけますようにロータリー活動を企画していきたいと思っております。今年度のテーマは、「世代を紡ぎ、親睦と奉仕を未来へ」とさせていただきます。これは、今後西原会長エレクトや、林会長ノミネーへ世代が変わる移行期間において、私がお大阪難波RCの中長期のビジョンを作り、次世代にバトンを渡したいと思っております。このテーマとしました。

クラブの念願でもありました「大阪難波ローターアクトクラブ」の発足が現実味をおび、11月には「ローターアクトを知っていただく懇親会」が開催されて62名の若者が集いました。12月に予定しておりました「キックオフミーティング」は順延となっておりますので、LINEやSNS等でメッセージを送り、希望者の気持ちが冷めないようにしております。今期中にしっかりと立ち上げて西原会長エレクトに引き継ぎますよう思っています。会員増強も重要となっております。そのためにも対外的な広報として、大阪難波RCのホームページもリニューアルしました。同時にRIでのロータリーマークの変更もありましたので改変いたしました。マークのエピソードとなりますが、マークは厳しく規定されており、7月の大分県豪雨災害の支援物資としてパーテーションやベットにマークを印刷するときに二色刷りや色目まで指定され

ていたので、急遽マークの青や黄色を出す為に白色段ボールを使うこととなりました。同時に入会のおしりもホームページに合わせて改定中です。この様に次世代のロータリアンを募集するためにもSNSなども活用していきたいと思っております。ZOOMを利用した例会を開始しました。これは他クラブでも実績があったので大阪難波RCでも開始しました。仕事の関係やご自宅に高齢者や受験生がおられる会員様は、お気兼ねなくZOOMをご活用ください。決定事項としまして、事務局の時差出勤やリモートワークも可能になる様行っています。中長期のビジョンについて、戦略委員会を開催して今後のビジョンを設定したいと思っております。マイロータリーへの登録も幹事のもとで勧めており多くの登録がなされました、皆さん登録のご協力有難うございます。コロナの影響で行事は行えないこともありますが、「未来に行きたい、未来につなげたい」ことは今期中にやり遂げたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



テーマ 「ロータリーの未来形成 (Shaping Rotary's Future = SRF)」
卓話者 福田 忠 幹事

以前臨時報にてお伝えしましたが、最近の国際ロータリーの動向をお伝えしたいと思います。今までのおおよそ20年間で、RI主導での大きな流れは、1996年 DLP (地区改善計画)、2004年 CLP (クラブ改善計画)、2010年 RI戦略計画・地区戦略計画・クラブ戦略計画、2013年 FVP (未来の夢計画) といったものがありました。そして今「ロータリー未来形成」というものが、RI理事会並びに「ロータリー未来形成委員会」で話し合われています。「ロータリー未来形成」とは、英文で「Shaping Rotary's Future」といいます。この「ロータリー未来形成委員会」(以下略称SRF)委員会は2018年7月に発足し、当時のRI会長のバリー・ラシン氏が委員長で構成されたとの事です。この委員会の存在自体これまで極秘でしたが、つい最近情報が解禁され、昨年の12月に、RI理事であります辰野克彦パストガバナーが、ロータリーの未来形成に関する報告及び意見交換会をオンラインにて開催致しました。その改革のおもな内容(モデル案)として、
1. 現在の地区を廃止⇒世界で20~30の地域(リージョン)を区分けし、地域評議会(リージョナルカウンシル)を設置する。

※こちらの設置基準としては、文化、言語、ニーズとフォーカス、地理、効率性を基準にグループ分類を実施することです。ちなみに日本は、使用する言語からして当然ですが、一つの地域というのが前提になっているようです。世界に存在する34ゾーンはそのままにするという事ですが、日本語の日本にとってはあまり意味がないように思います。これまで日本は基本的に3ゾーンでしたが、会員数の減少から2.5ゾーンに減らされました。現在日本の1ゾーン(1A)は、インドネシア、パキスタン、バングラデシュを含んでいます。尚※2750地区にグアム・ミクロネシア等が含まれているのは経緯が違います。

2. リージョナルカウンスルのリーダーとして1名を地域内のクラブの選挙で選出。任期は3年とする。※こちらが現在の「ガバナー」という位置付けになるのでしょうか？日本は現在34地区あり、それぞれにガバナーが選出されています。それが日本で1名になるという事です。このリーダーがRI理事会で責任を持つ位置付けにするかどうかを検討しているようです。

3. セクションリーダーとして、会員数1500~1600人、25~30のクラブ、アクトを管理。任期は2年とする。※こちらを例えるのであれば、現在における「ガバナー補佐」になるのでしょうか。第2660地区に照らしますと、現在ロータリークラブが80クラブ、ローターアクトクラブが23クラブですので、3名ぐらいの配置となります。今のガバナー制度は50から100のクラブを支援しています。

こちらのSRF(ロータリー未来形成)、実施されるとロータリーにとって驚異的な変化となりますが、基本理念であります、ロータリーの中核的価値観、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップには変更がないという前提だそうです。以下に未来形成の主旨を箇条書きにすると。

◆キーワードは…

DEI【日本ではまだあまり聞かれませんが、ダイバーシティ(幅広い多様性)推進の方針として、この考え方を掲げる企業が欧米で増えてきています。Dはダイバーシティ(多様性)、Eはイクイティ(公平)、Iはインクルージョン(包容、受容)の頭文字です。】「金銭的余裕もない・時間もないが奉仕意欲はある方へ、奉仕の機会の公平性を」とのことです。

◆なぜ未来形成に取り組むのか？

まずは、ライオンズの会員数の拡大が一番だと思います。ライオンズは過去15年間ぐらいで10万人増強し、世界で143万人ぐらいの会員がいらっしやいます。それに比べてロータ

リーは、ここ数年何とか下げ止まりの傾向ですが、120万人台に減ってきています。それをいかに食い止めるかという所から起きた改革案だと思われます。ちなみに世界的に見ますと、ロータリー会員の減少率は日本が一番多いです。そしてその次がイギリスやアメリカです。それに比べて韓国、台湾、インドはものすごい増え方をしております。RI理事も日本からが1名減り、韓国・台湾が1名増えています。財政面の問題も本音ではないでしょうか。毎年毎年のガバナーエレクト研修セミナーや、国際協議会もかなりの費用がかかるとされます。ローターアクトも、2019年の規定審議会でRIの加盟クラブとしてローターアクトクラブを含めることを決定しております。2022年7月からRIへの年会費の支払いが始まり、大学を拠点とするクラブは会員1名につき5ドル、地域社会を拠点とするクラブは会員1名につき8ドルとなります。※現在日本は、2555クラブ(内、ローターアクト310クラブ)、88771名(内、ローターアクトクラブ2143名)です。

今後は、2022年の規定審議会において、

「パイロットエリアを創設することを承認する件」の提出が、RI理事会から提出されるようです。パイロットエリアとは、一定のエリアを限定し試験的にパイロットプログラムを行う地区です。RI理事会からの提出案は、間違いなく採択されると思われますので、最短で2023-24年ロータリー年度には、パイロットエリアにおいてSRFの試みが実践されると思います。既にゾーン8(オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島)では、2022年の規定審議会で案が認められたら、パイロットプログラムに参加するという旨が、第9930地区のホームページに掲載されています。この

「ロータリーの未来形成」は、パイロットプログラムを経て10年後の2030年頃に、全世界での実施を想定との事です。まだ全てにおいて決定はされておらず、ロータリーの未来形成(SRF)原案の形式は示されていますが内容・本質については公表されていません。日本では、相当の反対が想像できます。

ロータリーの本来の目的である奉仕活動や、「職業奉仕」という素晴らしいロータリー哲学を実践し提唱するロータリアンはやがて淘汰され、肥大したロータリー組織を食物にする一部の人間だけが潤うロータリーにならないことを祈るばかりです。

